

創刊25周年
[カー用品専科・月刊誌]

2025年の“カー電”を先読み!
[カーグッズマガジン]



2025
1
January
定価770yen
(税込み)

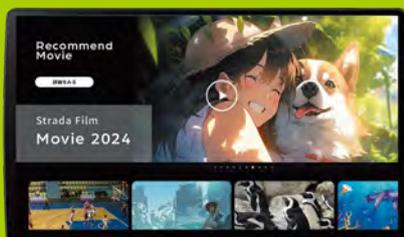
2024年11月15日発売
(毎月17日発売)

Car Goods Magazine

www.cargoodsmagazine.co.jp

最先端から始める、電気モノ生活の第一歩

HDMI



NAVI

WI-FI



RADAR



STARTER

TOPICS

- 実車に見る最新AV STYLE
- ドラ・レコのいま
- レーザー&レーダーの最先端
- ディスプレイオーディオADVANCE
- 車内で動画ハウツー
- ジドーシャWi-Fiルーターの選び方



SPEAKER

デジタル・カーライフの現代事情講座

スタートアップ

カー電

【特集】
Car Life Electronics



DISPLAY

電腦 TUNING

- 最新型車デバイス後付けプラン
- カメラCARライフ
- 充電のいろは
- 車載電動ツールNOW
- 見守りカメラが次に来る!

MIRROR



RECORDER



CAMERA



TPMS



実車に見る

最新 AV STYLE



ドラ・レコのいま



レーザー&

レーダーの最先端



ディスプレイオーディオ

ADVANCE



車内で動画

ハウツー



ジューシャ

Wi-Fiルーター

の選び方



電腦 TUNING



最新型車デバイス

後付けプラン



スタートアップ

いまからでも遅くない!

【特集】

今日から始める
デジタルカーライフ

カー電

Car Life
Electronics

ますますテリトリーを拡げるデジタル機器の進撃に、「もうついていけない…」とお嘆きのアナタ！
食わず嫌いのままじゃあもったいない!! 進化を続け、高度化するほどに、より身近に接しやすくなるのも、
家電でおなじみ電子製品の常。今からのスタートだって決して遅くはない。というより、今こそ狙い目の成熟マーケット
でもあるからこそ、いまいちど電子用品の現状に目を向けてみようじゃありませんか!?



カメラCARライフ



充電のいろは



車載電動ツール

NOW



見守りカメラが

次に来る!

最新レーダー取り締まり機に完全対応!

可搬式小型オービスをはじめ、この数年で速度取締り機の機材が大幅に更新されている。そのため、新たなシステムに対応するレーダー探知機が続々とデビューを果たした。その最新モデルの特徴を確認することは、安心ドライブの要と言えるのだ。

レーダー & レーダー 最先端



警報精度の向上と新レーダーへの対応で 安心ドライブのサポート力を格段強化

新レーダーへの対応と 使いやすい機能性を追加

旅先の慣れない道などでは、周囲の流れに従っていると、つい速度が出てしまうことはよくある話。そんな時に速度取締り機に出合ってしまうと、楽しい旅行も台無しになってしまっただろう。このような心配を解消してくれるレーダー探知機は、多くのドライバーにとってもはや定番の装備として親しまれている。しかし、ここ数年の間には取締り機の更新ラッシュに見舞われ、これまで定番であったHシステムやループコイル式といったオービスはその姿を消しはじめている。対して増加しているのが可搬式と呼ばれるオービス。MSSSなどは周波数が従来ものとは異なり、さらにレーダー波だけでなくレーザーを使



BLITZ
タッチレーダー
TL315R

価格：オープン（実勢価格：3万7800円）

用したモデルも投入されているため、対応する進化版レーダー探知機が必要になっているのだ。

しかしレーダー探知機の進化に対し、さらに新たなレーダー方式を採用する取締り機が登場。JMAと呼ばれる新型取締り機は、すでに北海道や九州、関西エリアで稼働をはじめており、当然ながら従来モデルのレーダー探知機では存在を把握できないと言われている。そこでブリッツが『タッチレーダー』をモデルチェンジ。このJMAに対応するアップグレードを行なっているのだ。

ちなみに、タッチレーダーは新モデルのTL315Rで5世代目に入っている。これまでのモデルは、その時々の最新取締り機に合わせた進化を重ね、高精度な警報機能やユーザビリティを付け加え続けている。今



本体裏にあるレーザー受光部は、レーザー式取締り機に対応する装備。直線的なレーザー光を受けやすくするため、この部分を隠さないように取り付けるのがコツ。

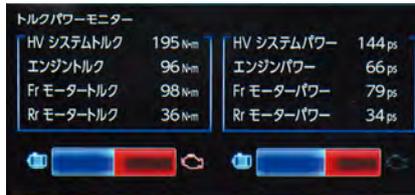
各種取締り機に対応するから
知らない土地でも安心感アップ



旧来からあるLHシステムなどをはじめ、MSSSレーダー、JMAレーダー、レーザー式など、現在稼働しているあらゆる取締り機を網羅。電波やレーザー光を受信するのはもちろん、82基にも及ぶGPSを測位することで、正確な現在位置とルート上にある取締り機の存在も警報してくれるのだ。

OBDIIアダプタ
接続で多彩な
画面表示も継承

オプション設定されるOBD IIアダプターで車両と接続することで、車速や回転数をはじめとした様々な情報をモニタリングできる。この機能は旧来のモデルから引き継いでおり、ガソリンエンジン車はもちろん、ハイブリッド車などモデルによって多彩なメニューが用意されている。



このニューモデルでも、これまで培った機能性はそのままに、前述のJMAモデルへの対応や便利機能を追加。さらに安心感が高く、使いやすいモデルへと進化しているのだ。

特に警報の信頼度を高めるスカン機能は、現行モデルのTL314Rから受け継ぎつつ、MSSSだけな

くJMAにも対応。旧モデルに見られた特定車種（メーカー）のレーダー波に対し、反応し続けるのではなく、取締り機かどうかの判断を行い、適切な警報に切り替えるシステムが組み込まれている。このスカン機能を搭載することで、より高精度な警報を実現しているというわけだ。

TL314Rから導入されたスカン機能は、MSSSやJMAの周波数帯を受信してから発信元の識別を行うことで、不要な誤警報をなくしてくれる。過去のモデルではレーザー波を発する特定車種に対して、警報がなりっぱなしになることも多く、油断を生んでしまう原因にもなっていた。それだけにスカン機能による警報の信頼性アップは、安心ドライブを確実にサポートしてくれるはずだ。



警報の信頼性を高める
スカン機能を搭載



また、ベゼルデザインも従来モデルから刷新し、シンプルなブラックベゼルを採用。車内に溶け込むデザインは、スポーツカーはもちろん、ミニバンやSUVとの親和性も高く、車内に溶け込むこと間違いなし。こうしたアップデートも、最新モデルの魅力を高めているのだ。